

サービス

○開館

区分	授業期		休業期	
	月～金	土・日	月～金	土・日
本館	9:00～22:00	10:00～17:00	9:00～17:00	休館
医学部分館	9:00～22:00	10:00～17:00	9:00～17:00	10:00～17:00

○入館者数・貸出

(平成27年度)

区分		本館	医学部分館	
開館日数	総数	306日	333日	
	土・日開館	68日	95日	
利用対象者数	総数	9,436人		
	(学外者)	(540人)		
入館者数	総数	227,236人	33,595人	
		平日		
		9:00～17:00	156,924人	18,111人
		17:00～閉館	44,440人	11,088人
	土・日	25,872人	4,396人	
	(学外者)	(14,494人)	(332人)	
館外貸出	貸出冊数	総数	44,532冊	14,418冊
		(学外者)	(3,255冊)	(725冊)
	貸出者数	総数	25,134人	8,499人
		(学外者)	(1,481人)	(276人)

は内数

○参考業務・文献複写・相互貸借

(平成27年度)

区分		本館	医学部分館	
参考業務	文献調査	1,581件	2,040件	
	事項調査	264件	444件	
	利用指導	791件	1,036件	
	その他 (CD-ROM検索含む)	79件	23件	
文献複写	受付	学内	197件	155件
		学外	1,444件	3,000件
	依頼	1,973件	1,301件	
相互利用	図書の貸出	539件	39件	
	図書の借受	448件	45件	

- 弘前大学ホームページ <http://www.hirosaki-u.ac.jp/>
- 弘前大学附属図書館ホームページ <http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>
開館時間や利用案内、問い合わせ先等をお知らせしています。
- 弘前大学附属図書館蔵書検索(OPAC) <http://opc.ul.hirosaki-u.ac.jp/opc/>
弘前大学にどのような図書や雑誌があるか、検索できます。
◇附属図書館のホームページからもリンクがはられています。
- 弘前大学学術情報リポジトリ <http://repository.ul.hirosaki-u.ac.jp/dspace/>
弘前大学の電子的形態の教育・研究成果を無料で閲覧できます。



国立大学法人 弘前大学 附属図書館 概要 2016

学生のための教育・研究支援を目指す



沿革

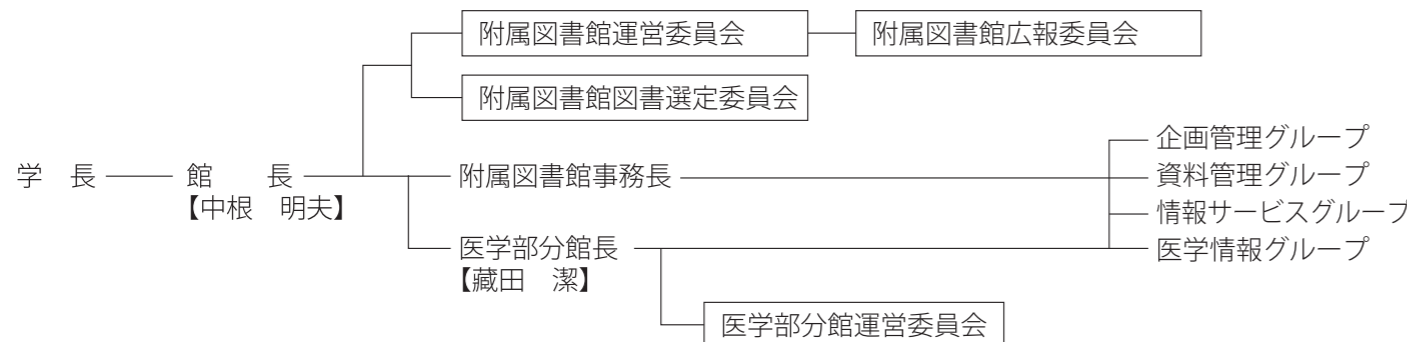
平成8年～平成17年

平成18年～平成22年

平成23年～

組 織	●附属図書館協議会設置【昭24】 ●附属図書館図書選定委員会設置【昭45】 ●本館事務部制(2課5係)【昭59】 ●附属図書館報編集委員会設置【平5】	●附属図書館広報委員会設置【平12】 ●附属図書館運営委員会設置【平16】 ●学術情報部学術情報課(3係)、 情報サービス課(2係)に改組【平16】 ●学術情報部学術情報課 (1課4グループ)に改組【平17】	●保健学科分室を医学部分館と 統合により閉室【平21.5】	●研究推進部学術情報課に名称変更【平25.4】 ●附属図書館事務部制 (事務長5グループ)【平28.4】
	●附属図書館設置【昭24】 ●医学部分館建設【昭27】532㎡、 【昭43】1,286㎡ ●農学部分館を設置【昭30】 ●本館建設【昭45】3,462㎡ 増設【昭59】延面積6,064㎡ ●医療技術短期大学部分室を設置【昭52】 ●図書館業務用電子計算機(情報処理セン ター設置機器)を設置【昭62】 ●学術情報ネットワークに接続【昭62】 ●本館ブックディテクションシステム設置【昭63】 ●図書館業務用専用電子計算機の予算化【平6】	●総合情報処理センター教育用 PC10台を設置(本館) 【平11】 ●本館入退館装置設置 【平11】 ●自動貸出・返却装置設置 【平11】	●貴重資料保管室設置【平21】 ●医学部分館改修【平21】 総面積1,569㎡ ●本館入退館装置更新 【平22.3】 ●新「松木文庫」設置【平22.6】 ●本館PCサテライト50台に増設し、 3階にリニューアルオープン 【平23.2】 ●本館自動貸出返却装置更新 【平23.3】	●本館ラーニングスペース・スクエア 設置【平23.10】 ●本館改修【平26】 総面積6,111㎡ ●本館ラーニング・commonsを拡充 【平26.10】総面積239㎡
施 設 ・ 設 備	●附属図書館設置【昭24】 ●医学部分館建設【昭27】532㎡、 【昭43】1,286㎡ ●農学部分館を設置【昭30】 ●本館建設【昭45】3,462㎡ 増設【昭59】延面積6,064㎡ ●医療技術短期大学部分室を設置【昭52】 ●図書館業務用電子計算機(情報処理セン ター設置機器)を設置【昭62】 ●学術情報ネットワークに接続【昭62】 ●本館ブックディテクションシステム設置【昭63】 ●図書館業務用専用電子計算機の予算化【平6】	●総合情報処理センター教育用 PC10台を設置(本館) 【平11】 ●本館入退館装置設置 【平11】 ●自動貸出・返却装置設置 【平11】	●貴重資料保管室設置【平21】 ●医学部分館改修【平21】 総面積1,569㎡ ●本館入退館装置更新 【平22.3】 ●新「松木文庫」設置【平22.6】 ●本館PCサテライト50台に増設し、 3階にリニューアルオープン 【平23.2】 ●本館自動貸出返却装置更新 【平23.3】	●本館ラーニングスペース・スクエア 設置【平23.10】 ●本館改修【平26】 総面積6,111㎡ ●本館ラーニング・commonsを拡充 【平26.10】総面積239㎡
	●附属図書館設置【昭24】 ●医学部分館建設【昭27】532㎡、 【昭43】1,286㎡ ●農学部分館を設置【昭30】 ●本館建設【昭45】3,462㎡ 増設【昭59】延面積6,064㎡ ●医療技術短期大学部分室を設置【昭52】 ●図書館業務用電子計算機(情報処理セン ター設置機器)を設置【昭62】 ●学術情報ネットワークに接続【昭62】 ●本館ブックディテクションシステム設置【昭63】 ●図書館業務用専用電子計算機の予算化【平6】	●総合情報処理センター教育用 PC10台を設置(本館) 【平11】 ●本館入退館装置設置 【平11】 ●自動貸出・返却装置設置 【平11】	●貴重資料保管室設置【平21】 ●医学部分館改修【平21】 総面積1,569㎡ ●本館入退館装置更新 【平22.3】 ●新「松木文庫」設置【平22.6】 ●本館PCサテライト50台に増設し、 3階にリニューアルオープン 【平23.2】 ●本館自動貸出返却装置更新 【平23.3】	●本館ラーニングスペース・スクエア 設置【平23.10】 ●本館改修【平26】 総面積6,111㎡ ●本館ラーニング・commonsを拡充 【平26.10】総面積239㎡
資 料 整 備	大型コレクション ●Collection of economic classics. 【昭53】 ●Early English Text Society publications. 【昭54】 ●東大寺文書【平元】 ●有価証券報告書総覧【平4・7】 ●Research materials for studying history,culture,literature,language and other fields of Georgia,Amenia,Caucasus. 【昭62】 ●Gmelin handbook of inorganic and organometallic chemistry. 【平6・8】 ●遼及入力開始【平7】	●太宰治研究文庫開設 【平10】 ●リンク研究資料コーナー開設 【平14】 ●電子ジャーナル導入開始 【平14】 ●ノーベル医学・生理学賞関連 コレクション(Ueber das Zustandekommen der Diphtherie-Immunität und der Tetanus-Immunität bei thieren)【平14】 ●「学生図書選定について」策定 【平16】 ●「学術雑誌及び電子ジャーナル整 備基本方針」策定【平17】 ●津軽学コーナー開設、基礎ゼミ指 定図書コーナー開設、白神研究資 料コーナー開設、ピーターパン・バ リ文庫開設【平17】	●弘前大学学術情報リポジトリ正式 公開【平20.5】 ●国立弘前高等学校資料の整理 【平20】 ●「津軽領元禄国絵図写」発見 【平20.8】 ●文系図書整備(5カ年計画) 【平21.3】～【平25.3】 ●太宰治青春の肖像写真を公開 【平21.4】 ●「国立弘前高等学校資料目録」 刊行【平21.6】 ●遼及入力・現物調査開始 【平21.8】 ●太宰治自筆ノート公開 【平22.1】 ●弘前大学学生「言語力」 大賞コンテスト作品集刊行 【平22.3】 ●「加藤謙一文庫」開設、記念碑建立 【平22.9】 ●ひろさき地域共同リポジトリを 試験公開【平23.2】	●「文庫・新書コーナー」開設・雑誌 コーナー整備【平23.4】 ●「津軽領元禄国絵図写」をデジタル 化しHPで公開【平23.11】 ●教職関連資料コーナー開設 【平24.1】 ●「阿仁鉱山関係絵図」をデジタル化 しHPで公開【平24.10】 ●太宰治自筆ノート複製版を 限定販売【平25.3】 ●「太宰治自筆 英語ノート、修身ノ ト」をデジタル化しHPで公開 【英語平25.12】【修身平27.1】 ●地域志向コーナー開設【平27.1】 ●トルクメニスタンコーナー開設 【平27.5】
	●Collection of economic classics. 【昭53】 ●Early English Text Society publications. 【昭54】 ●東大寺文書【平元】 ●有価証券報告書総覧【平4・7】 ●Research materials for studying history,culture,literature,language and other fields of Georgia,Amenia,Caucasus. 【昭62】 ●Gmelin handbook of inorganic and organometallic chemistry. 【平6・8】 ●遼及入力開始【平7】	●太宰治研究文庫開設 【平10】 ●リンク研究資料コーナー開設 【平14】 ●電子ジャーナル導入開始 【平14】 ●ノーベル医学・生理学賞関連 コレクション(Ueber das Zustandekommen der Diphtherie-Immunität und der Tetanus-Immunität bei thieren)【平14】 ●「学生図書選定について」策定 【平16】 ●「学術雑誌及び電子ジャーナル整 備基本方針」策定【平17】 ●津軽学コーナー開設、基礎ゼミ指 定図書コーナー開設、白神研究資 料コーナー開設、ピーターパン・バ リ文庫開設【平17】	●弘前大学学術情報リポジトリ正式 公開【平20.5】 ●国立弘前高等学校資料の整理 【平20】 ●「津軽領元禄国絵図写」発見 【平20.8】 ●文系図書整備(5カ年計画) 【平21.3】～【平25.3】 ●太宰治青春の肖像写真を公開 【平21.4】 ●「国立弘前高等学校資料目録」 刊行【平21.6】 ●遼及入力・現物調査開始 【平21.8】 ●太宰治自筆ノート公開 【平22.1】 ●弘前大学学生「言語力」 大賞コンテスト作品集刊行 【平22.3】 ●「加藤謙一文庫」開設、記念碑建立 【平22.9】 ●ひろさき地域共同リポジトリを 試験公開【平23.2】	●「文庫・新書コーナー」開設・雑誌 コーナー整備【平23.4】 ●「津軽領元禄国絵図写」をデジタル 化しHPで公開【平23.11】 ●教職関連資料コーナー開設 【平24.1】 ●「阿仁鉱山関係絵図」をデジタル化 しHPで公開【平24.10】 ●太宰治自筆ノート複製版を 限定販売【平25.3】 ●「太宰治自筆 英語ノート、修身ノ ト」をデジタル化しHPで公開 【英語平25.12】【修身平27.1】 ●地域志向コーナー開設【平27.1】 ●トルクメニスタンコーナー開設 【平27.5】
利 用 サ ー ビ ス	●時間外開館(本館～20:00)【昭45】、 (医学部分館～20:00)【昭49】、 (保健学科分室～18:00)【昭52】 ●土曜開館実施(本館10:00～17:00) 【平4】、(医学部分館10:00～17:00) 【平15】 ●「青森県立図書館、弘前市立図書館と相互協 力に関する申し合わせ」制定【昭59】 ●「弘前市三大学(弘前大学、弘前学院大学、東 北女子大学)図書館の相互利用に関する申し 合わせ」制定【昭63】 ●「岩手大学大学院連合農学研究科学生の図 書館利用等の取扱いについて(申し合わせ)」 制定【平2】 ●「図書館相互貸借」(NACSIS ILL Library Loan)業務を開始【平4】 ●附属図書館ホームページ開設【平6】	●日曜開館実施(本館10:00～ 17:00)【平8】、(医学部分館 10:00～17:00)【平16】 ●平日開館延長(本館～22:00) 【平11】 ●学生証と図書館利用証の一体化 【平11】 ●一般市民への館外貸出を開始 【平12】 ●第1回学術講演会【平16】 ●第1回弘前大学学生「言語力」 大賞コンテスト【平17】	●文京・本町キャンパス間図書貸出 サービス開始【平20.11】 ●図書館報「豊泉」印刷再開 年2回発行【平21.5】 ●レファレンスサービスの充実 【平20.5】 ●「青森県立図書館の連携・協力に 関する覚書」の締結【平21.10】 ●留学生ガイダンスを開始 【平22.4】 ●データベース講習会開始 【平22.5】 ●館内貸出パソコンの導入 【平22.6】	●グループ学習用電子ボードの導入 【平23.10】 ●平日開館延長(医学部分館～ 22:00)【平26.4】 ●本館リニューアルオープン 【平20.5】 ●本館メインカウンターと参考調査 カウンターを統合し、サービスカウ ンターを設置【平26.10】 ●本館書庫への入庫手続きを廃止、 全開架式に変更【平26.10】 ●附属図書館ラウンジトーク開始 【平27.4】 ●POPコンテスト開始【平27.6】 ●ライブライカフェ開始【平28.6】 ●国立国会図書館 図書館向けデジ タル化資料送信サービス開始 【平28.6】
	●時間外開館(本館～20:00)【昭45】、 (医学部分館～20:00)【昭49】、 (保健学科分室～18:00)【昭52】 ●土曜開館実施(本館10:00～17:00) 【平4】、(医学部分館10:00～17:00) 【平15】 ●「青森県立図書館、弘前市立図書館と相互協 力に関する申し合わせ」制定【昭59】 ●「弘前市三大学(弘前大学、弘前学院大学、東 北女子大学)図書館の相互利用に関する申し 合わせ」制定【昭63】 ●「岩手大学大学院連合農学研究科学生の図 書館利用等の取扱いについて(申し合わせ)」 制定【平2】 ●「図書館相互貸借」(NACSIS ILL Library Loan)業務を開始【平4】 ●附属図書館ホームページ開設【平6】	●日曜開館実施(本館10:00～ 17:00)【平8】、(医学部分館 10:00～17:00)【平16】 ●平日開館延長(本館～22:00) 【平11】 ●学生証と図書館利用証の一体化 【平11】 ●一般市民への館外貸出を開始 【平12】 ●第1回学術講演会【平16】 ●第1回弘前大学学生「言語力」 大賞コンテスト【平17】	●文京・本町キャンパス間図書貸出 サービス開始【平20.11】 ●図書館報「豊泉」印刷再開 年2回発行【平21.5】 ●レファレンスサービスの充実 【平20.5】 ●「青森県立図書館の連携・協力に 関する覚書」の締結【平21.10】 ●留学生ガイダンスを開始 【平22.4】 ●データベース講習会開始 【平22.5】 ●館内貸出パソコンの導入 【平22.6】	●グループ学習用電子ボードの導入 【平23.10】 ●平日開館延長(医学部分館～ 22:00)【平26.4】 ●本館リニューアルオープン 【平20.5】 ●本館メインカウンターと参考調査 カウンターを統合し、サービスカウ ンターを設置【平26.10】 ●本館書庫への入庫手続きを廃止、 全開架式に変更【平26.10】 ●附属図書館ラウンジトーク開始 【平27.4】 ●POPコンテスト開始【平27.6】 ●ライブライカフェ開始【平28.6】 ●国立国会図書館 図書館向けデジ タル化資料送信サービス開始 【平28.6】

組織



蔵書・コレクション・貴重資料

○蔵書

(平成28年3月31日現在)

区 分	所蔵図書冊数(冊)		所蔵雑誌種類数(種)		電子 ジャーナル	平成27年度 受入			
	和 書	洋 書	和雑誌	洋雑誌		図 書(冊)	雑 誌(種)		
本 館	和 書	500,796	和雑誌	14,324	12,301 タイトル	和 書	4,427	和雑誌	1,676
	洋 書	164,267	洋雑誌	3,896		洋 書	417	洋雑誌	167
	計	665,063	計	18,220		計	4,844	計	1,843
医学部分館	和 書	98,638	和雑誌	4,126		和 書	1,094	和雑誌	542
	洋 書	75,323	洋雑誌	2,460		洋 書	438	洋雑誌	222
	計	173,961	計	6,586		計	1,532	計	764
合 計	和 書	599,434	和雑誌(全館)	18,098		和 書	5,521	和雑誌(全館)	2,200
	洋 書	239,590	洋雑誌(全館)	6,213		洋 書	855	洋雑誌(全館)	386
	計	839,024	計(全館)	24,311		計	6,376	計(全館)	2,586

○所蔵コレクション

1. 加藤謙一文庫

加藤謙一は、本学の前身の一つである青森県師範学校の卒業生で、戦後を代表する多くの著名な漫画家を育て、今日の漫画文化の礎を築きました。この文庫は、手塚治虫などが育てた著名な漫画家の関連資料からなる368冊の文庫です。資料の多くは、加藤謙一氏の四男の加藤丈夫氏から寄贈されました。



国立弘前高等学校
入学当時の太宰治

2. ピーターパン・バリ文庫

「ピーターパン」の著者である英国エジンバラ大学の総長であった、ジェームス・マシュー・バリのほとんどすべての著書及び関係資料209点からなる文庫です。

3. 太宰治研究文庫

太宰治没後50周年(平成10年)を記念する研究整備事業(教育学部)によって収集された資料を中心に設置されました。

4. 大塚甲山文庫

本県出身で、明治末期の社会主義的詩人、大塚甲山の遺稿、甲山宛書簡、旧蔵書(主として文学書)等からなるもので、大塚甲山の令弟理吉氏が保管していたものを教育学部同窓会を通じて平成7年4月寄贈されたものです。

5. Collection of economic classics. (経済学古典コレクション)

主として、18世紀を中心とした西欧経済学、経済史、財政学上の代表的な17点45冊からなるオリジナルコレクションです。昭和53年度大型コレクション(全国共同利用資料)として整備されました。

6. 松木文庫(医学部分館所蔵)

本学名誉教授松木明知氏から寄贈されたウィリアム・オスラーコレクション(117冊、別刷114点)、医学古典叢書の復刻版(44冊)、レオナルド・ダ・ヴィンチコレクション(20冊)及びノーベル医学・生理学賞関連コレクション(194冊、別刷14点)からなる文庫です。

○貴重資料(各資料の目録は本館ホームページで公開しています)

1. 津軽領元禄国絵図写

津軽領の国絵図としては、正保の写が県立郷土館に、天保の正本が国立公文書館に所蔵されているが、元禄の国絵図はこれまで発見されていなかった。当時の本州北端の状況を政治、経済両面から表す貴重な資料です。

2. 国立弘前高等学校資料群

旧国立弘前高等学校に関わる、①文部省からの公文書 ②沿革資料 ③教務資料 ④学籍・調書類 ⑤雑誌・会報類 ⑥学校経営資料 ⑦写真類の大きく7項目からなる総点数1,055点余に及ぶ膨大な資料群です。

3. 青森師範学校資料

昭和20年(1945年)の文部大臣前田多聞の青森師範学校卒業式告辞から昭和27年の教育学部卒業式在校生祝辞にいたる記念式典、卒業式の祝辞など全20点。

4. 弘前八幡宮古文書

旧津軽藩領守である弘前八幡宮の社務日記(御用留記)を主体とした記録類(写本)で、元禄6年(1693年)から明治41年(1908年)に至る196点の資料群です。



太宰資料の自筆ノート

5. 太宰治自筆ノート

国立弘前高等学校に入学した太宰が、第1年次の英語と第2年次の修身の講義を、書き留めた自筆の大学ノートです。

6. 弘前大学蔵ねぶた絵

第1回の参加から第51回までの、祭りの出陣の際に実際に使用した大型ねぶたと一部小型ねぶた表裏の絵であり、祭り終了後、裏打ちして、本学では初参加以来、「ねぶた流し」は行わず、前述のように表具して毎年保存してきたねぶた絵です。